



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 タカノ株式会社

上場取引所 東

コード番号 7885 URL <http://www.takano-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鷹野 準

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 大原 明夫

TEL 0265-85-3150

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	9,372	△18.7	△550	—	△444	—	△637	—
25年3月期第3四半期	11,525	6.9	△146	—	△20	—	△140	—

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 △506百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △183百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△41.95	—
25年3月期第3四半期	△9.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	32,930	25,680	78.0	1,689.92
25年3月期	31,936	26,308	82.4	1,731.26

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 25,680百万円 25年3月期 26,308百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,430	△6.5	△150	—	10	△96.1	△70	—	△4.61

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	15,721,000 株	25年3月期	15,721,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	524,734 株	25年3月期	524,734 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	15,196,266 株	25年3月期3Q	15,196,266 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日）におけるわが国経済は、政府による積極的な経済政策や日本銀行の金融政策などを背景に、株価の上昇、円高の是正等が進み、さらに、消費税引き上げ前の駆け込み需要拡大等の効果もあり、景気は回復傾向に推移いたしました。

しかしながら、今年初からの円安による輸入コストの上昇や消費税引き上げ前の駆け込み需要の反動減なども予想され、今後の景気の先行きは、なお予断を許さない状況で推移しております。

このような環境のもとで、当社グループは新たな中期経営計画「Grow up 63」の基本方針「中期的な事業の成長を確保するため、新しい分野に対する『攻め』を徹底して行う」の実行と施策項目である「全社組織構造改革」、「新事業領域への展開」、「グローバル事業展開基盤の構築」、「損失計上分野の大胆な見直し」の実現を図るべく活動を行ってまいりました。

具体的には、合理化と新たな領域への展開を意図したユニット（ばね等）部門と産業機器（電磁アクチュエータ等）部門の組織統合、中長期を見据えた新事業開発組織の体制拡充、中国上海および香港の現地法人の組織人員体制拡充、中国における製造委託体制の構築および拡充、製品原価の見直しおよび積極的なコストダウン活動等に引き続き取り組んでまいりました。

しかしながら、住生活関連機器の販売の増加はあったものの、検査計測機器の販売の大幅な減少の影響は大きく、当第3四半期連結累計期間の売上高は9,372百万円で、前年同四半期比2,153百万円（18.7%）の減収となりました。

利益面につきましては、販売の大幅な減少による粗利益の減少を補うべく、積極的なコスト削減による原価低減と経費の徹底的な削減に努めたものの、営業損失550百万円（前年同四半期は営業損失146百万円）、経常損失444百万円（前年同四半期は経常損失20百万円）、四半期純損失637百万円（前年同四半期は四半期純損失140百万円）となりました。

【セグメント別の概況】

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

セグメント別の概況につきましては、第1四半期連結累計期間から、平成25年4月1日に実施した組織異動にともなう管理体制の変更により、前連結会計年度まで「その他」の区分に含まれていたユニット（ばね）製品の製造販売を「産業機器」に統合させる区分の変更を行っております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント別の概況につきましては、会社組織変更後の区分に基づき組み替えを行い、表示しております。

（単位：百万円）

	売上高（外部顧客への売上高）			セグメント利益又は損失（△）		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減率	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減率
住生活関連機器	3,879	4,876	25.7%	△285	△166	－%
検査計測機器	4,854	1,555	△68.0%	156	△482	－%
産業機器	1,434	1,629	13.6%	43	161	269.4%
エクステリア	631	647	2.4%	△91	△72	－%
報告セグメント計	10,800	8,708	△19.4%	△176	△560	－%
その他	725	664	△8.5%	18	23	28.6%
セグメント間取引消去	－	－	－%	11	△14	－%
合計	11,525	9,372	△18.7%	△146	△550	－%

（住生活関連機器）

当セグメントは、主にオフィス用、福祉・医療施設用の椅子等の製造販売を行っております。

当セグメントにつきましては、国内および中国オフィス市場向け新製品開発および新製品の生産立ち上げに積極的に取り組むとともに、引き続き、中国製造委託体制の強化・拡充等グローバル化に対応した施策を進めてまいりました。また、医療・診療空間で使用されるストレッチャー等の販売促進活動に取り組んでまいりました。

この結果、首都圏オフィスビル供給増加にともなうオフィス家具需要の拡大等により、販売は拡大し、売上高は4,876百万円で前第3四半期累計期間比997百万円、25.7%の増収となりました。利益面では、市場競争の激化にと

もなう販売単価の低下の影響はあったものの、販売数量の増加にともなう稼働率の向上により、セグメント損失は166百万円（前年同四半期はセグメント損失285百万円）と赤字幅を縮小することができました。

（検査計測機器）

当セグメントは、主に液晶等の検査計測装置等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、中国市場向け液晶検査装置および高機能フィルム向け検査装置ならびに燃料電池部材等の新用途市場向け検査装置の販売活動に注力してまいりました。また、製品の競争力強化に向け、製品の標準化の推進と高速光学センサーおよび高速画像処理装置の開発に取り組んでまいりました。

しかしながら、当第3四半期連結累計期間における販売は低調裡に推移し、売上高は1,555百万円で前年同四半期比3,299百万円、68.0%の大幅な減収となりました。利益面については、積極的な原価低減および経費の徹底的な削減に努めたものの、販売の減少による影響は大きく、セグメント損失は482百万円（前年同四半期はセグメント利益156百万円）となりました。

（産業機器）

当セグメントは、主に電磁アクチュエータ・ユニット（ばね）製品等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、中国をはじめとするアジア地域での製造委託体制の拡充、海外市場への積極的な営業活動および医療関連分野向け電磁アクチュエータの量産化と生産性向上を目的とした生産ライン現場の徹底した改善活動等に取り組んでまいりました。

この結果、主に織機向けの電磁アクチュエータ需要の回復等にもない、売上高は1,629百万円で前年同四半期比195百万円、13.6%の増収となりました。利益面では販売の拡大にともなう工場稼働率の向上に加え、現場改善活動の効果等により、セグメント利益は161百万円で前年同四半期比117百万円、269.4%の増益となりました。

（エクステリア）

当セグメントは、主に跳ね上げ式門扉、カーポート、テラス、オーニング等のエクステリア製品を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、引き続き、オーニング等の業務用途の物件受注に向けた販売促進、物件受注体制・販売施工体制の拡充等に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は647百万円で前年同四半期比15百万円、2.4%の増収となりました。利益面につきましては、施工体制の拡充にもない受注採算が改善したため、セグメント損失は72百万円（前年同四半期はセグメント損失91百万円）と赤字幅を縮小することができました。

（その他）

当セグメントは、機械・工具および外構資材等の販売に関する事業を含んでおります。

当セグメントにつきましては、外構資材等の販売促進の強化等を行ったものの、機械・工具にかかる受注が低調に推移したため、売上高は664百万円で前年同四半期比61百万円、8.5%の減収となりました。一方、利益面では、採算性のよい製品分野の販売が増加したことにより、セグメント利益は23百万円で前年同四半期比5百万円、28.6%の増益となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は32,930百万円となり、前連結会計年度末と比較して993百万円増加いたしました。純資産合計は25,680百万円となり、前連結会計年度末と比較して628百万円減少いたしました。

この結果、自己資本比率は78.0%と前連結会計年度末と比較し、4.4ポイント減少いたしました。

資産の部については、前連結会計年度末に対し、将来に納入を控えている検査計測装置に係る仕掛品の増加等により仕掛品が1,831百万円増加する一方、現金及び預金が1,739百万円、受取手形及び売掛金が1,684百万円減少したこと等により、流動資産が935百万円減少し、19,798百万円となりました。

固定資産合計は主に住生活関連機器セグメントにかかわる伊那工場開発棟の新設及び既存建物の改修工事等により建物及び構築物が367百万円増加したこと、余裕資金の運用の増加および株式相場の回復にともなう評価の改善により投資有価証券が1,453百万円増加したこと等により、1,929百万円増加し、13,131百万円となりました。

負債の部については、今後売上高の計上を予定する検査計測装置の大口案件にかかる代金の前受け増加にともない、前受金が1,133百万円増加したこと等により、負債合計は1,622百万円増加し、7,250百万円となりました。

純資産の部については、主に当第3四半期連結累計期間における四半期純損失の計上および剰余金の配当の支払にともなう利益剰余金の減少759百万円等により、純資産合計は628百万円減少し、25,680百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループ住生活関連機器セグメントは毎年第4四半期に販売が集中する傾向にあります。同セグメントの今後の販売動向を見極める必要があるため、平成26年3月期通期の業績につきましては、現時点においては、平成25年5月10日に公表いたしました業績予想の見直しは行っておらず、従前の予想と変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社で判断したもので

あり、実際の業績は、今後発生する様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,305,911	10,566,054
受取手形及び売掛金	5,446,563	3,762,418
有価証券	351,781	356,265
商品及び製品	327,385	913,941
仕掛品	1,139,039	2,970,639
原材料及び貯蔵品	714,391	730,354
その他	449,826	501,403
貸倒引当金	△222	△2,340
流動資産合計	20,734,677	19,798,736
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,342,728	1,709,952
機械装置及び運搬具（純額）	464,070	432,393
土地	4,250,944	4,250,944
その他（純額）	267,079	287,232
有形固定資産合計	6,324,822	6,680,523
無形固定資産	305,377	273,395
投資その他の資産		
投資有価証券	3,046,993	4,500,009
その他	1,531,913	1,684,983
貸倒引当金	△7,085	△7,085
投資その他の資産合計	4,571,821	6,177,907
固定資産合計	11,202,021	13,131,826
資産合計	31,936,698	32,930,563

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,193,671	3,325,083
未払法人税等	30,194	17,301
前受金	110,167	1,243,436
賞与引当金	280,043	133,821
役員賞与引当金	4,800	—
受注損失引当金	128,129	74,632
その他	908,988	1,551,241
流動負債合計	4,655,995	6,345,518
固定負債		
長期借入金	342,495	259,992
退職給付引当金	418,099	408,592
役員退職慰労引当金	162,550	171,480
その他	48,896	64,490
固定負債合計	972,040	904,555
負債合計	5,628,036	7,250,073
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,015,900	2,015,900
資本剰余金	2,355,417	2,355,417
利益剰余金	22,112,548	21,353,502
自己株式	△272,421	△272,421
株主資本合計	26,211,444	25,452,399
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	110,781	218,651
繰延ヘッジ損益	△320	—
為替換算調整勘定	△13,243	9,439
その他の包括利益累計額合計	97,217	228,090
純資産合計	26,308,662	25,680,490
負債純資産合計	31,936,698	32,930,563

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	11,525,950	9,372,753
売上原価	9,703,411	7,857,295
売上総利益	1,822,539	1,515,457
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	533,408	539,356
賞与引当金繰入額	31,165	31,115
退職給付費用	47,061	42,103
貸倒引当金繰入額	△273	2,117
役員退職慰労引当金繰入額	8,340	9,030
その他	1,348,962	1,442,428
販売費及び一般管理費合計	1,968,663	2,066,151
営業損失 (△)	△146,124	△550,693
営業外収益		
受取利息	29,700	28,484
受取配当金	17,186	19,657
為替差益	36,535	44,556
助成金収入	21,585	5,643
その他	30,876	15,414
営業外収益合計	135,884	113,756
営業外費用		
支払利息	2,961	3,070
固定資産除売却損	1,290	3,891
コミットメントフィー	5,073	—
その他	1,127	979
営業外費用合計	10,452	7,942
経常損失 (△)	△20,692	△444,879
特別利益		
固定資産売却益	12,852	24
投資有価証券売却益	38,061	—
特別利益合計	50,914	24
特別損失		
固定資産除売却損	842	—
投資有価証券評価損	133	50,921
その他	100	5,361
特別損失合計	1,076	56,283
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	29,145	△501,137
法人税、住民税及び事業税	23,611	29,470
法人税等調整額	146,478	106,867
法人税等合計	170,089	136,337
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△140,944	△637,475
四半期純損失 (△)	△140,944	△637,475

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△140,944	△637,475
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45,479	107,869
繰延ヘッジ損益	—	320
為替換算調整勘定	2,468	22,683
その他の包括利益合計	△43,010	130,873
四半期包括利益	△183,954	△506,602
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△183,954	△506,602
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	住生活関連 機器	検査計測 機器	産業機器	エクステ リア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,879,004	4,854,608	1,434,538	631,989	10,800,141	725,809	11,525,950
セグメント間の内部売 上高又は振替高	8,659	8,845	10	8,643	26,158	164,623	190,781
計	3,887,663	4,863,453	1,434,549	640,633	10,826,299	890,432	11,716,732
セグメント利益又は損失 (△)	△285,303	156,143	43,686	△91,077	△176,550	18,587	△157,963

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械・工具等の販売に係る事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	△176,550
「その他」の区分の利益	18,587
セグメント間取引消去	11,838
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△146,124

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 （注）	合計
	住生活関連 機器	検査計測 機器	産業機器	エクステ リア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,876,125	1,555,408	1,629,765	647,404	8,708,704	664,048	9,372,753
セグメント間の内部売上高又は振替高	33,303	2,326	26,975	2,958	65,564	234,589	300,153
計	4,909,429	1,557,735	1,656,741	650,363	8,774,268	898,637	9,672,906
セグメント利益又は損失 （△）	△166,663	△482,006	161,368	△72,958	△560,259	23,908	△536,351

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械・工具等の販売に係る事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益又は損失（△）	金額
報告セグメント計	△560,259
「その他」の区分の利益	23,908
セグメント間取引消去	△14,342
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△550,693

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、平成25年4月1日に実施したユニット部門と産業機器部門を統合する組織異動による管理体制の変更に伴い、従来「その他」の区分に含まれていたユニット部門を「産業機器」セグメントに含めて表示するセグメント区分の変更を行っております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しており、前第3四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」において組み替えて表示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。